

発掘終了すぐさま次の工事が始まって調査区の遺構が壊される！！

天白・元屋敷遺跡発掘調査終了日の6月30日（火）朝には、発掘現場の事務所や作業用のプレハブが全て撤収していました。発掘区は検出された遺構が、ビニールシートを掛けずにそのままになっていましたが、7月2日（木）午後4時ごろには、すでにブルドーザーが縦横に走り、高い部分の土が池跡の低くなっているところに寄せ集められて、遺構は完全に壊されていました。あっという間の出来事でした。発掘区のり面はパワーシャベルで発掘区域内の土を押しさえつけるようにして側面の強化がされています。3日4日は作業が続けられていた様子はなく。写真は昨日5日（日）3時頃の無残な発掘調査区域内の状態です。



南側の方の状況



中央部分の状況



北側の方の状況



守山高校側（西側）のり面部分の状況

「厄介者は早く始末せよ」の勢いで調査した遺構すべてがかき消されました。残念です。遺構を残すことが何の考慮もされなかったことに抗議し、この地域の遺構の証や、まだ残っている天白・元屋敷遺跡や関連するその他の遺跡を含む保存計画を明確にし、名古屋市が区画整理事業を行う地元民にこれ以上の負担を掛けずに、遺跡が残され活用されていく方法を、引き続き求めていきたいと決意を新たにしています

市会各会派にも天白・元屋敷遺跡の問題を取り上げていただくようお願いをしていました。

報告が後先しますが、市議員への働きかけも必要であろうと、市会の始まった6月19日に各会派を回り、次のような書面をもってお願いをし、関係書類を渡していました。これまで、各方面へ働きかけてきた経過もまと

めておりますので、ぜひご覧いただきたいと思います。ただ、今回発掘調査区の遺構が壊されたことで、調査区を含めて全面保存はできなくなっていますので、再度状況を説明して回り、天白・元屋敷遺跡の問題を取り上げてもらうようお願いしていきたいと考えています。